

無量寿

【発行】雲夢山寿命寺



CONTENTS

[P1] 今年の報恩講について [P2-3] お盆の法話「仏さまの視点」、永代経報告、寿命寺LINE案内 [P4] 2021年忌線出

大津市雄琴 3-19-36 TEL/FAX 077-572-5125 <https://jumyouji.net/>

今年の報恩講について

ご承知の通り新型コロナウイルスの感染が再び拡大しています。今年度の報恩講についてもその開催の可否が心配されるところですが、真宗門徒にとって何よりも大切な法要、可能な限りの対策を講じて、なんとかお勤めしたいと考えています。

もちろん今後の状況によっては止む無く中止の判断をしなければならないこともあり得ますが、現時点での予定と決定している対策を下記にお知らせしますので、ご高覧いただき、ご承知おきいただきたく存じます。

1. 日程

10月24日(土)

日中 14:00、初夜 19:00

10月25日(日)

晨朝 7:00、逮夜 10:00、日中(満座) 14:00

2. 講師

竹田嘉円 師 (呉市 明円寺)



3. コロナ対策にかかる変更点

(1) お齋について

例年婦人会の皆さんにご用意頂いていた二日目のお齋については、調理時並びに会食時の感染リスクを考え、中止とさせていただきます。

(2) 近隣寺院参り合いについて

同じく例年二日目は近隣寺院からの婦人会の参り合いがあり、本堂内が密集していましたが、先般関係寺院住職で会合し、今年については婦人会の組織的な参り合い(動員)は行わないことを申し合わせました。

これによって二日目もほぼ当山門徒だけのお参りとなるため、ソーシャルディスタンスを確保していただけたらと考えています。

上記の他、諸対策を住職・総代で検討していきます。しかしどのように対策を講じたとしても感染リスクをゼロにすることは不可能です。不安に思われる方はそれぞれのご判断でお参りをお控えください。

また先述の通り、場合によっては中止も考えられる他、日程の縮小等もありえます。その場合は別途ご案内いたしますので、予めお含みください。

近隣寺院報恩講のご案内

今年は例年のようにお寺ごとにお参りを割り当ててお願いすることはいたしません。

ただしこれは個人的に他所へお参りするのを禁止するものではありません。逆に寿命寺に他所からのお参りがあれば暖かくお迎えしましょう。これは関係住職と申し合わせています。

近隣寺院報恩講の予定は下記の通り。ただし状況によっては中止や変更もありえます。お参りの際は当該寺院にご確認ください。

また、お参りの際は事前に検温し、体調が優れない場合はお参りを控えるようお願いいたします。

▶9/19-21

本福寺

和氣秀剛 師 (五條市 圓光寺)

▶10/16-18

圓成寺

釋 宣寿 師 (大津市 長泉寺)

▶10/19-21

専念寺

寺本正尚 師 (大阪市 萬福寺)

▶10/31-11/2

正源寺

中村英龍 師 (広島市 最広寺)

▶11/21-23

龍光寺

釋 宣寿 師 (大津市 長泉寺)

お盆法話

「仏さまの視点」 久留島法暁 師 (広島市・圓正寺)

今年の本願寺出版社のお盆の施本にとてもいいご法話が掲載されていました。寿命寺のご門徒の皆さんにも読んでもらいたいと思い、ここに転載します。(実はお仏供米のお返しにその施本を用意するつもりが、うかうかしていたら売り切れていました...)

筆者、久留島さん(写真右)は広島の方で同郷の宮武大悟さん(写真左)と「アサカラザル」というコンビを組んで、漫才やバンドなど斬新な手法での伝道活動に励んでいらっしゃいます。漫才、とても面白いのでいつか寿命寺にもお招きできたらと思っています。



▶アサカラザル フェイスブックページ
<https://www.facebook.com/asakarazaru/>



私はもともと「お笑い」が好きなのですが、ここ数年、法話とは別に「漫才法話」をしていることもあり、お笑い番組があると、つい見てしまいます。特に好きなのは、体験談をおもしろおかしく語る番組です。次から次へと出てくる話に笑いながら、「芸人さんの周りにはおもしろいことがよく起こり、それを上手にしゃべることができると本当に感心します。みなさんも、そんなことを思われたことはないでしょうか？」



明石家さんまさんがある番組で、自身が駆け出しの頃のお話をされています。当時、落語家の桂三枝(現・文枝)さんの運転手をされていたそうです。毎朝仕事現場まで送っていくのですが、その道中、必ず同じ質問をされたそうです。

「なんかおもしろいことあったか？」

最初の頃は、「はい、こんなことありまして」と、おもしろかった出来事をお話しされていたそうですが、同じ質問を毎朝されるのですから、さすがに一カ月も経つ頃にはネタ切れになってしまいます。

困ったさんまさんは、考え方を変えてみたそうです。それは、普段は気にもとめなかった日常の出来事に目を向けて、今までとは違った角度から見つめ直してみたのです。

すると、今までは気づかなかったけど「こう見たらおもしろいな」と、何気ない出来事の中にある「おもしろさ」に気づいていけるようになったというの

です。そうして迎えにいくたびに、三枝さんにお話をしていたそうです。

「あの時はしんどいばかりやったけど、今思えばあの無茶振りにだいたい育ててもらったわ」と、お話しされていました。

ふと思いましたのは、芸人さんたちは、たくさんおもしろい話を聞かせてくれますが、何も芸人さんだけに特別におもしろい出来事が起きているのではなくて、私たちが日常に経験することと変わりはないのかもしれないということです。

「なんかおもしろいことあったか？」という問いかけによって、何気ない日常の出来事が「おもしろい出来事」に意味合いを変えられていったように、芸人さんたちも、視点を変えることによって、そんな感性が育まれているのではないのでしょうか。

私たちが仏さまの教え(仏法)を聞かせていたただくのも、共通するところがあると思います。それは、仏法によって「私のものの見方」が変えられていくことがあるからです。

視点が変えられると、それまで気づくことがなかったことに気づかせてもらえます。今まで思いもしなかったことに、心をかたむけていくことができます。

しかし、教えを聞いたからといって、私自身が賢くなったり、立派な人間になっていくわけではありません。仏法を聞かせていただくことによって、今まで気づくことがなかった物事を見ていけるような、そんな「こころの視野」が広げられていくのだと思

います。

新聞やテレビなどで「終活」ということが言われ始めて久しいですが、そのひとつに「エンディングノート」というものがあります。もしものことがあった時のために、伝えておきたいことを書き留めておくノートのことですが、私もある機会に書いてみたことがあります。



「私の人生の履歴書」という項目のなかに「お世話になった人」という欄がありました。私はこれまでを振り返りながら書き入れました。幼稚園や小中高校の先生方、部活の監督、アルバイト先の店長、友人たち、と書いていきながら、途中でやめました。なぜなら書ききれなかったからです。

考えてみれば、これまでの人生を私はどれだけの方にお世話になったのでしょうか。家族親族はもちろん、名前を挙げればきりが無いほどの多くの方々を支えられていたのです。中には忘れてしまった人もいるでしょう、直接会ったことのない人もいます。です。

人だけではないですね、これまでの私の血となり肉となってくださった多くのいのち、さらにその全てを育んだこの地球、いやいやその地球を包み込む宇宙。私一人がここに居るためには、私の知らない過去も含めてはかりしれないご縁があったのです。

私たちの先人は、そのことを「おかげさま」と言ってきたのです。

「そんなこと、仏さまの教えを聞かなくてもわかってます」と思われるかもしれませんが、「おかげさまの人生と知りながら、本当に、おかげさまと毎日を暮らしていますか?」と、聞かれたらどうでしょうか。

私は、そんなことはすっかり忘れて、「自分が、自分が」と暮らしています。うまくいったら得意げになつて自分を誇り、うまくいかなかったら、「自分がこんな頑張っているのにうまくいかないのは、他のせいだ!」と思つて生きています。

そんな忘れてばかりの私に、仏さまのお言葉は、「自分が、自分が、と生きていくなかには、こころ豊かな人生はひろがっていきませんよ。いまのあなたがあるのは、無数の『おかげさま』なのです。どうかそのことに気づいてください」と、教えてくだ

さいます。

私たちの日常には、いろいろな場面があります。うれしいこと、楽しいこと、感動することもあります。しかし「誰も自分の気持ちなんかわかつちゃくれん」と愚痴をこぼす時もあります。「なんで私がかん目にあわねばならんのじゃろか」と悲嘆にくれたり、「こんなはずじゃなかったのに」と涙をながすこともあります。いろいろなことがわき起こっては消えていく、思い通りにならない人生しか生きていけません。

そんな時、少し立ち止まってみて、「仏さまは、どうご覧になるだろう」、「仏さまは、どんなお言葉を語りかけてくださるだろう」と、一つひとつ確認していけるのが、浄土真宗の生き方だと思います。

そこにこそ、こころの視野が広げられ、本当の安心を恵まれるのではないのでしょうか。

永代経法要のご報告

5/17 (日) 永代経法要をお勤めしました。コロナのためご門徒の皆さんのお参りはご遠慮いただきましたが、門徒代表として総代さんらにお集まりいただき、正信偈をお勤めさせていただきました。

また初めての試みとしてYou Tubeにて法要の様子をライブ配信しましたが、直前に音声トラブルがあり、その都合で事前にご案内していたアドレスでの配信が途絶えてしまいました。

急ぎホームページで変更後のアドレスをご案内しましたが、見れなかった方もあったと思います。せっかくアクセスしていただいたのにすみませんでした。

今後また同様の手立てを取らなければならぬこともあるかもしれませんが、今回の失敗を無駄にしないよう、準備したいと思います。

LINE はじめました!

寿命寺の公式アカウントを開設しました。門徒の皆さまへの諸連絡に用いていきますので、是非ともご登録をお願いします。スマートフォンで下記のQRコードを読み込んでください。

